

## トピックス 1

### イヌワシ赤谷ペアが7年ぶりに子育てに成功！

赤谷プロジェクトでは、赤谷の森の生態ピラミッドの頂点に立つ1つがいのイヌワシを、赤谷の森の豊かさを知る指標として、モニタリング調査を続けています。赤谷の森のイヌワシは、1993年からモニタリング調査が続けられており、2015年までの22年間で7回子育てに成功していますが、2009年以降は6年連続で失敗しており、生息環境の悪化が懸念されていました。そのような状況の中、2016年6月、赤谷の森のイヌワシは7年振りに子育てに成功し、幼鳥が巣立ちする姿が確認されました。

また、赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングワーキングの検討を踏まえ、利根沼田森林管理署の事業により、イヌワシが狩り場創出のための試験地として、2015年9月からスギ人工林約2haを伐採し、狩りができる環境を創出するとともに、ブナ・ミズナラを主体とする本来の自然の森を復元する取り組みを進めています。2016年の子育ての成功は、狩場の創出の直接的な効果とは言えないものの、試験地上空で探餌行動を行う様子や、試験地付近に出現する頻度が高まったことが確認され、一定の効果があると判断されました。

さらに、赤谷プロジェクトが進めてきたイヌワシの生息環境の質を向上させるための第1次試験地の取組や赤谷の森で巣立った幼鳥の様子は、2016年11月6日に放映された、NHK『ダーウィンが来た！生きもの新伝説 イヌワシを守れ！子育て支援大作戦！』で紹介されました。

今後も1次試験地において、狩り場としての機能や自然林への復元状況等をモニタリングするとともに、イヌワシが安定的に子育てができる森を目指して、取組を進めていきたいと思っております。



イヌワシの幼鳥



伐採した第1次試験地の様子

## クマタカを指標とした生物多様性の保全に資する森林管理の提言！

クマタカは、森林生態系の食物連鎖の上位に位置し、森林に生息する様々な中小動物を獲物としている大型の猛禽類です。クマタカの生息環境を保全することは、その地域に生息・生育する野生動植物の多様性と豊かさを保全することにつながります。さらに、クマタカは北海道から九州まで様々な植生の森林地帯に連続して広く分布しているため、クマタカが安定して生息している環境が存在していることは、森林を構成する植生の種類にかかわらず、中小動物が豊富に生息し、かつ、クマタカが狩りをすることができる林内空間を有する森林環境が保全されていることの指標になると考えられます。

赤谷プロジェクトでは、生物多様性の豊かさを指標する野生動物であるクマタカの繁殖状況や狩りをする場所などについて、継続的に調査を行ってきました。これらの調査結果に基づき、今回、「クマタカを指標とした生物多様性の保全に資する森林管理 ー赤谷プロジェクトからの提言ー」を取りまとめました。

この提言書は、クマタカが安定的に生息して繁殖を継続することができる生物多様性に富む豊かな森林環境を維持・向上させること、かつ、森林資源の持続的な利用を実現することに役立つ、具体的な森林管理の考え方と方法を提案しています。

この提言書で示している森林管理の具体例については、他の地域の森林にも応用できるものと考えられますので、今回の提案を参考として、全国各地でクマタカを指標とした森林管理が実践されていくことを期待しています。



クマタカの若鳥



茂倉沢の全景

### トピックス 3

#### 山の日制定記念小出俣巨樹・巨木コース散策会を開催！

平成27年度の環境教育WGにおいて、小出俣を活用した教育プログラムとして検討、設定された「小出俣巨樹巨木観察コース」での散策会を、平成28年に制定された「山の日」の記念イベントとして、赤谷センター主催で一般参加者を募集し初めて実施しました。

当初は8月27日（土）を予定していましたが、当日は台風による大雨のため9月10日（土）に延期して実施しました。当日は、赤谷センター職員3名と関東森林管理局技術普及課から1名、ガイドとして赤谷プロジェクト地域協議会の長浜さんの4名がスタッフとなり、一般参加者は、ボランティア1名を含む計13名となりました。

当日は、ガイドの長浜さんの案内で植物や動物の話を交えながら溪流沿いの巨樹や野生動物のフィールドサインを観察しながら散策しました。



小出俣沢の大カツラの木の解説の様子

## トピックス 4

### みなかみ町の全小学校で森林環境教育を実施しました！

みなかみ町では、児童が放課後に安全・安心に過ごすことのできる居場所を作ることを目的として、地域の教育活動サポーターが小学校で「放課後子供教室」を実施しています。赤谷センターでは、地域との連携や森林環境教育の推進のため、この活動と連携し、平成27年度から平成28年度にかけて、みなかみ町の小学校全6校において森林環境教育プログラムを提供しました。基本的に小学校の校舎内または校庭で行う活動となるため、森林と人とのつながりの話やネイチャークラフト等のプログラムを行いました。学校によっては、低学年だけの場合や1年生から6年生まで一緒に活動する場合もあるため、プログラムの内容は少しずつ調整しながら、教育活動サポーターの方と協力して行っています。また、赤谷プロジェクト地域協議会とも連携して活動しています。

#### 【実施した小学校】

平成27年

11月：新治こども教室（新治小学校放課後こども教室）

平成28年

2月：北っ子くらぶ（月夜野北小学校放課後こども教室）

3月：藤原小学校放課後こども教室

7月：北っ子くらぶ（月夜野北小学校放課後こども教室）ディキャンプ

10月：ももの子くらぶ（桃野小学校放課後こども教室）

11月：岳の子（たけのこ）クラブ（水上小学校放課後子供教室）、古馬牧っ子（こめまきっこ）わくわく教室（古馬牧小学校放課後こども教室）



森と人とのつながりの話



森のかけらストラップづくり



落ち葉タペストリー



ロケットリーフ